



2020年5月8日

各 位

会社名 青山商事株式会社  
 代表者名 代表取締役社長  
 兼執行役員社長 青山 理  
 兼営業本部長  
 (コード番号 8219 東証第一部)  
 問合せ先 取締役兼常務執行役員  
 グループ経営本部長 山根 康一  
 兼総合企画部長  
 (TEL 084-920-0050)

### 特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。あわせて、2020年3月11日に公表した2020年3月期通期の連結及び個別業績予想を下記のとおり修正いたしました。

#### 記

#### 1. 特別損失の計上について

##### <連結>

	計上理由	2020年3月期計上見込額 〔2020年3月11日公表業績予想織込額〕
店舗に係る減損損失等	ビジネスウェア事業において市場環境の変化や新型コロナウイルス感染拡大の影響等による、売上高減少に伴うもの	60億45百万円 〔50億円〕
のれん等の減損損失	当社連結子会社であるミニット・アジア・パシフィック(株)の損益見直しを見直した結果、同社の日本事業に係るのれん等の減損処理を実施	53億66百万円 〔40億円〕
事業整理損失	当社連結子会社である(株)イーグルリテイリングの解散に係る損失	85億21百万円 〔84億87百万円〕

##### <個別>

	計上理由	2020年3月期計上見込額 〔2020年3月11日公表業績予想織込額〕
店舗に係る減損損失等	連結と同様	60億45百万円 〔50億円〕
子会社株式評価損	上記ミニット・アジア・パシフィック(株)ののれん等の減損処理を実施したことに伴う、子会社株式評価損	90億19百万円 〔一億円〕
事業整理損失	連結と同様	123億27百万円 〔96億2百万円〕

## 2. 業績予想の修正について

### (1) 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	219,000	△400	400	△20,300	△406円16銭
今回修正予想(B)	217,696	818	1,530	△16,900	△338円39銭
増減額(B-A)	△1,303	1,218	1,130	3,399	—
増減率(%)	△0.6	—	282.7	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	250,300	14,629	15,611	5,723	114円32銭

### (2) 2020年3月期通期個別業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	153,900	△1,400	△2,200	△17,800	△356円14銭
今回修正予想(B)	153,162	△164	1,020	△23,276	△466円5銭
増減額(B-A)	△737	1,235	3,220	△5,476	—
増減率(%)	△0.5	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	184,573	12,653	12,578	3,831	76円53銭

### (3) 修正の理由

#### <連結業績>

売上高につきましては、概ね前回予想どおりとなる見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましては、主に当社において販売費及び一般管理費を削減したことなどにより、前回予想を上回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、税金費用が減少したことなどにより、前回予想を上回る見込みであります。

#### <個別業績>

売上高につきましては、概ね前回予想どおりとなる見込みであります。

営業利益につきましては、主に販売費及び一般管理費を削減したことなどにより、前回予想を上回る見込みとなりました。

経常利益につきましては、前回予想では(株)イーグルリテイリングに対する貸付金に係る貸倒引当金繰入額 20 億 9 百万円を営業外費用に計上する見込みで算定しておりましたが、同社に係る事業整理損失の一部として特別損失へ計上したことによる営業外費用の減少などにより、前回予想を上回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、税金費用が減少いたしました。上記「1. 特別損失の計上について」に記載のとおり、ミニット・アジア・パシフィック(株)に係る子会社株式評価損 90 億 19 百万円等、特別損失が前回発表時より 127 億 89 百万円増加したため、前回予想を大幅に下回る見込みであります。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上